

栃木 会議所ニュース

ホームページ <https://www.tochigi-cci.or.jp> Eメール tcci@tochigi-cci.or.jp

No.667

毎月1回10日発行
発行所
栃木市片柳町2-1-46
栃木商工会議所
TEL (23) 3131(代)
FAX (22) 7550
印刷所 第一印刷(株)
定価 1部100円

会員の購読料は、会費に含まれています。



2023年 新年のごあいさつ



栃木商工会議所
会 頭 荒金 憲一

新年明けましておめでとう
ございます。

会員事業所の皆様には、令和五年卯年の新年を健やかに迎えられることとお慶び申し上げます。

私は、昨年十一月の臨時議員総会において、はからずも二度目の会頭の推挙を受け、引き続き第三十四期の会頭職を務めさせていただきましたことになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。さて、この一年を振り返りますと、ウィズ・コロナという新時代の中、国としても経済活動の再生に向け舵を切ったわけですが、二月に突如発生したウクライナ情勢により、資源価格や食糧価格の高騰を招き、世界経済の減速が懸念されるとともに、急激な円安によるコスト増など、中小・小規模事業者にとりまして、まだまだ厳しい経済

環境が続いております。

一方、当会議所では、昨年七月に創立百三十周年の節目を迎え、これを記念し、九月には会員事業所皆様のご支援のもと記念式典を挙行させていただきましたとともに、十一月には四年ぶりの開催となりますとちぎ秋まつりを市民の皆様とともに盛大にお祝いすることができましたことに、厚く御礼申し上げます。

そして、十一月一日には、議員改選を踏まえ、新たな役員・議員体制のもとで、第三十四期がスタートいたしました。

第三十四期は、長引く停滞から変革へと向かう転換期になると考えます。私たち中小・小規模事業者は、地域の雇用とともに地域コミュニティを支えており、これまでの幾多の困難に直面しながらも、環境変化に柔軟に対応できる自己変革力を

持っていると感じております。

そのためにも、地域に根ざし、企業の皆様を支え、寄り添える地域総合経済団体として、魅力と活力ある商工会議所であればなりません。

当会議所は、「継続性と更なる発展、並びに会員事業所の笑顔のために」を基本理念とし、「組織の充実と強化を図るとともに、国が推し進める「新たな資本主義」として、「成長と分配の好循環」の実現に向けた戦力のもと、事業再構築や事業継承、さらにデジタル化の推進など、実効性のある施策の展開を図るため、関係機関等との連携を強化し、中小・小規模事業者の次世代に向けた取り組みを支援してまいります。

今後とも、歴史ある本市の魅力を高めるために、当会議所は、古き良きものを守りつつ、新たなイノベーションを指す、『令和ルネサンス』をテーマに、新しい技術や工夫に果敢に挑戦し、本市経済の新たな道筋を示していくとともに、魅力あるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

引き続き、厳しい地域経済の中、この歴史と伝統ある当会議所の役割を十分に発揮できますよう積極的に活動してまいりますので、会員事業所の皆様には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご繁栄とご多幸をご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。

今月のtopics

9 P	決算書・確定申告書作成相談会のご案内 うずま共済ご加入のおすすめ
10 P	第16回あそ難まつりのご案内 インボイス制度登録申請のお知らせ
11 P	栃木税務署確定申告のお知らせ
チラシ	第34期荒金会頭記念講演会 提言・要望事項アンケート

謹賀新年

本年もどうぞよろしくお願いいたします
(敬称略)

会頭



荒金 憲一
ケープテレビ(株) 取締役会長

副会頭



若菜 秀夫
アスワン(株) 代表取締役会長



小野口 美治
小野口商事(株) 代表取締役社長



膝附 武男
ひざつき製菓(株) 代表取締役



佐山 謙三
佐山(株) 代表取締役社長

専務理事



國保 能克
栃木商工会議所

常議員



津布久 茂
㈱ニッコークリエート 代表取締役社長



小又 正和
小又工業(株) 代表取締役



松本 稔
松金化学工業(株) 代表取締役



小池 雅弘
㈱スクラムフーズ 代表取締役



茂木 広至
茂木機工(株) 代表取締役



渡邊 嘉一
ワタレイ(株) 代表取締役社長



長澤 厚史
㈱ナガサワ 代表取締役



小藤 有彦
㈱小藤製作所 代表取締役



田島 大
栃本市商店会連合会 会長



柳川 延夫
栃木ガス(株) 取締役社長



山口 輝
滝沢ハム(株) 常務取締役管理本部長



片柳 均
㈱セレモール 取締役会長



五十嵐 学
㈱足利銀行栃木支店 理事支店長



中里 武司
㈱みずほ銀行栃木支店 支店長



伏木 昌人
栃木信用金庫 理事長



福田 昌弘
日ノ出印刷(株) 代表取締役



平野 和正
㈱正和 代表取締役社長



横地 克孝
㈱栃木こすもす 代表取締役

議員



茂呂 章
金朝商事(株) 取締役会長



塚田 和克
㈱ツカダ 代表取締役



大阿久 岩人
㈱柏倉温泉太子館 会長



若林 芳明
栃木グランドホテル(株) 取締役会長



大澤 光司
㈱メディカルグリーン 代表取締役



柏崎 和己
㈱栃木地区浄化槽公社 代表取締役



松倉 敬士
栃木乳業(株) 代表取締役



青木 紀郎
栃木アンカー工業(株) 取締役副社長



猿山 貴
岡田石灰工業(株) 常務取締役



岩下 和了
岩下食品(株) 代表取締役社長



森戸 忠広
森戸運送(株) 代表取締役



寺内 治雄
㈱共同アロ保険事務所 代表取締役会長



森川 武
㈱森川自動車 会長



福富 正浩
福富税務会計事務所 所長税理士



田邊 勇輝
タナベ労働管理事務所 代表



嶋田 完治
シマダ(株) 代表取締役



藤沼 康雄
関東信越税理士会栃木支部 相談役

監事



小田垣 俊郎
元副会頭



大木 和
元副会頭



笠原 孝之
元副会頭



田村 佐重
元副会頭

相談役



大川 吉弘
元会頭

特別顧問



大木 敬
(株)大木組 代表取締役社長



八木原 清二
(株)アサヒドール 専務取締役



小島 峰夫
栃木陶器瓦(株) 代表取締役



佐々木 浩
栃木冷暖工業(株) 代表取締役



小林 雄一
(株)小林縫製工業 代表取締役社長



関口 佳市
関口商事(株) 代表取締役兼CEO



田名網 文男
(株)明治フード 代表取締役



荒川 光男
(株)荒川建設 代表取締役



古谷 清岳
館野建設(株) 代表取締役会長



伊藤 和博
伊藤電機(株) 代表取締役社長

議員



山田 三紀夫
日立グローバルライフソリューションズ(株) 栃木事業所長



遅澤 敦史
栃木レザー(株) 代表取締役



川嶋 幸雄
(株)タスク 名誉会長



西畑 圭樹
(株)西畑建材店 代表取締役



松本 篤哉
両毛印刷(株) 代表取締役



田村 義弘
(株)田村自動車整備工場 代表取締役



谷中 俊太郎
大正紙器(株) 代表取締役



須田 尚男
須田商事(株) 代表取締役



斎藤 卓司
ジャパンソルト(株) 常務取締役



毛塚 敏郎
(株)毛塚紙店 代表取締役

落合 希好
落合産業(株) 代表取締役



山口 真右
栃木木材(株) 代表理事



岡部 一法
(株)上原園 代表取締役社長



板倉 政幸
(株)板倉製作所 代表取締役



別井 秀一
(株)別井商店 代表取締役



中島 喜代典
丸三産業(株) 代表取締役社長



坂本 和則
坂本産業(株) 代表取締役



藤沼 正孝
(株)ヤオハン 常務取締役 営業本部長兼商品部長



高畑 健一
サントリー(株)梓の森工場 工場長



上野 和昭
(株)栃木銀行栃木支店 支店長



赤尾 憲司
(株)群馬銀行栃木支店 支店長

市本 和久
(株)関東エコーサイクル 代表取締役社長

2023年 年頭所感

「日本再生・変革に挑む 志を高く、新しい時代を切り拓く」



日本商工会議所

会頭 小林 健

明けましておめでとう
ございます。

2023年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

(はじめに)

私は、昨年11月の会頭就任時に「日本再生・変革に挑む」とした所信を表明し、「変革の連鎖」によって日本再生を成し遂げるために全身全霊を傾けることを会員の皆さまに誓いました。また、その後、全国各ブロックの商工会議所の皆さまや都内の中小企業経営者と対話する機会を得て、「現場主義」と「双方向主義」を継承・徹底させていかなければならないとの思いを新たにしました。われわれ商工会議所は、今年も一丸となって事業者の皆さまの声を適切に政策提言や事業活動に生かしつつ、地域経

済、日本経済の発展のために力を尽くしてまいります。

(当事者意識を持ち自己変革を)

さて、わが国は、過去20年以上にわたり物価、賃金、生産性がほぼ横ばいという停滞が続ぎ、先進諸国に比して相対的に競争力は低下してしま

す。さらに、昨年、コロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻、世界的なインフレなど、大きな環境変化が次々と押し寄せ、極めて予測困難な状況が続いています。

本年は、こうした大きな環境変化に対応しつつ、人口減少や少子高齢化、社会保障費の拡大、財政赤字、人手不足、エネルギー問題、さらには加速するデジタル化やグローバル化への対応などの構造的課題にわが国が

正面から取り組み、成長軌道に戻していくための重要な年になると認識しています。足元では、複合的な要因による物価上昇・円安の影響で中小企業は厳しい状況に置かれていますが、われわれ、企業が成長の原動力であるという当事者意識を持ち、現実を直視し、果敢に自己変革に挑まなければ、この時代を生き抜くことはできません。今こそ、渋沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、企業経営者が積極的に行動を起こしていかなければなりません。

私は、経営者の責務は、経済価値、社会価値、環境価値の三つを同時に追求すること、即ち社会に責任を持ち、貢献することだと考えています。中小企業は、変化に

対する柔軟な対応力を有しており、経営者と現場の距離も近く、経営者の理念を共有しやすい土壌があります。中小企業が自己変革と地域貢献・社会貢献の主役であり、日商の会頭として、私が先頭に立って自己変革に挑戦する中小企業のイノベーション創出と付

加価値向上を通じた成長を支援、大企業と中小企業が共存共栄できる社会を目指していきたいと考えております。

(企業の挑戦を支える環境整備を)

一方、政府の重要な役割は、企業の挑戦を支えるための環境整備にあります。特に「民間投資の強力な推進」「持続的に賃上げできる環境整備」「サブプライムチェーンの強化と経済安全保障」「多様な人材が活躍できる国づくり」の四つの対応を政府には求めたいと思います。資源を持たないわが国が持続的に成長するためには、競争力のある「科学技術創出立国」としての地位の確立を目指し、成長のエンジンとなる新たな産業分野へ投資を強力に促進していくことが不可欠です。そのためにも、政府は、新しい資本主義の重点投資4分野における官民の適切な役割分担、リスクシェアリングを図り、企業の成長期待を高めるとともに、十分な規模の政府支出、税制、民間投資を促す大胆な規制改革に取り組んでいただきたいと思

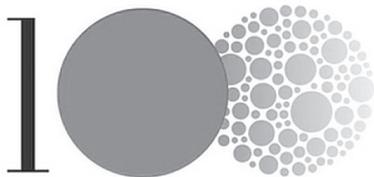
います。エネルギーに関して、安定供給の確保とともに、2050年カーボンニュートラル実現に向け、GXの活用や原子力を含むエネルギー政策を政府が前面に立って推進することが求められます。さらに、中小企業が賃上げできる環境整備に向けて、取引価格の適正化、デジタル化の推進等、生産性向上への支援強化が必要です。生産拠点の国内回帰を含め、多様化する供給網の整備も急務であり、企業の予想性を高め、自由な経済活動を阻害しない経済安全保障に取り組むべきであると考えます。

(志を高く、新時代を切り拓く商工会議所に)

商工会議所としては、地域の第一線で活躍する会員企業の皆さまと共に、こうした課題や変化をタイムリーに察知し、商工会議所自らも変化に対応できる強い足腰を鍛え、「中小企業のイノベーション創出・成長支援」「大企業と中小企業の共栄共存の実現」「人と企業が輝く地域の創造」の3本柱の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

昨年、日本商工会議所は100周年を迎えました。次の100年に向けて、本年が、「日本再生・変革に挑む」ための力強い一歩を踏み出す年となるよう、スピード感をもって実行していく組織、志を高く、新しい時代を切り拓いていく組織を目指してまいります。皆さまの一層のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

地域とともに、未来を創る



since 1922

日本商工会議所
The Japan Chamber of Commerce and Industry

創立100周年記念特設サイト



令和5(2023)年新年知事あいさつ



栃木県知事 福田 富一

福 田 富 一

商工会議所会員の皆様、あけましておめでとうございます。年頭に当たりまして、私の所信を申し上げます。

はじめに、本年は、明治6(1873)年に栃木県と宇都宮県が合併し、おおむね現在と同じ

領域の栃木県が誕生してから150年の節目の年となります。皆様と共にこの記念すべき年を迎えられますことを、大変うれしく思うところであります。

また、6月には、我が国で初めてとなるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合が本県で開催されます。この機をとらえ、栃木県の魅力・実力を広く国内外に発信し、地域経済の活性化やブランド力の向上に努めて参ります。

さて、昨年開催された「いちご一會とちぎ国体・とちぎ大会」につきましては、本県選手団の活躍に感動と勇気をもたらすとともに、県民総参加

により大きな成果を収めて成功裏に閉幕することができました。今後は、スポーツを通じた地域活性化など、両大会を通して培われた有形・無形のレガシーを確実に継承して参ります。

一方、新型コロナウイルス感染症対策につきましても、保健・医療提供体制の整備やワクチン接種促進に向けた取組を着実に進めますとともに、引き続き、国や市町、関係機関等と緊密に連携し、県民の命と健康、暮らしを守るため、必要な対策に万全を期して参ります。

また、長期化するコロナ禍に加え、物価高騰などにより地域経済が大きな打撃を受けている状況を踏まえ、社会経済活動の回復に向け、各種対策に取り組みとともに、強靱で稼ぐ力のある産業基盤の確立を図って参ります。

さらに、栃木県重点戦

略「とちぎ未来創造プラン」に掲げた本県の将来像「人が育ち、地域が活躍する 未来に誇れる元気な「とちぎ」を実現するため、国のデジタル田園都市国家構想総合戦略にも呼応しながら、本県版まち・ひと・しごと創生総合戦略「とちぎ創生15戦略(第2期)」と連携し、プランに基づく各種プロジェクトをより積極的に展開して参ります。

特に、人口減少・少子化対策としまして、若者や女性が働きやすい環境づくりを進めるとともに、結婚の希望をかなえ、安心して妊娠・出産、子育てができる魅力ある地域づくりに取り組んで参ります。また、経済発展と地域課題の解決を両立することができ

る社会(Society)の実現を目指し、デジタル技術の活用やデジタル人材の育成に積極的に取り組むとともに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、オール栃木体制による脱炭素化の取組を着実に進めて参ります。社会が大きく変化

する中におきましても、時代の潮流を的確にとらえ、デジタル技術も有効に活用しながら課題解決や魅力向上を図り、未来

令和5年 新年のごあいさつ



(一社) 栃木県商工会議所連合会 会長 藤井 昌一

会 長 藤 井 昌 一

新年明けましておめでとうございます。皆様には、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、年明けに一部地域で行動制限がありました。ワクチン接種の加速が、ウイルスの特性を踏まえた新たな行動基準が示され、感染対策を徹底したうえで経済活動が継続できる社会環境となつたのは大きな前進であり、今後は経営の安定を図りつつ、企業の成長発展にも積極的に取り組んでいかなければなりません。

しかし、国際情勢の緊迫化や世界経済の影響により、原油・原材料の高騰や円安の急伸、物価上昇などの新たな課題にも取り組まなければならず、企業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあります。商工会議所といたしましても地域企業の皆様に寄り添った経営支援を実行していくことはもとより、地域経済の活性化にも重点を置いて事業を展開して参る所存であります。

こうした中、本年6月には栃木県初の国際会議となるG7男女共同参画・女性活躍担当大臣会合の日光市開催が予定されておられ、加えて8月には県央地域の新たな公共交通となるLRTの開業も予定されております。国際会議の開催や新

な地域資源の誕生を契機として、本県の魅力発信や歓迎気運の醸成を県全体で取り組んでいくことが重要であり、地方創生の切り札である観光を活性化させていくことも商工会議所の大きな使命であると認識しております。

インバウンドの動向や多様化する観光ニーズも的確に捉えながら、県内への観光需要を高めることができるよう、昨年盛大に開催された「いちご一會とちぎ国体・とちぎ大会」のレガシー等も最大限に活用し、さらなる地域の魅力向上にも取り組んで参ります。

本年も県内商工会議所との連携を強化し、潮目の早い社会情勢を見極めながら、各地から寄せられる生の声をよりスピーディ感をもって、国や県、関係機関等に届けるとともに、笑顔あふれる地域づくりのため行動して参りますので、皆様の御支援御協力をお願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と企業の御発展、そして令和5年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

結びに、皆様の御健勝と企業の御発展、そして令和5年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

令和5年 新年のごあいさつ



栃木市長

大川 秀子

新年あけましておめでとうございます。

栃木商工会議所会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、長引くコロナ禍に加えて、ロシアのウクライナ侵攻等を背景とした原油価格や物価の高騰、世界的インフレや急激な円安などにより、地域経済は甚大な影響を受けました。本市では栃木商工会議所や各商工会、国・県との連携を図りながら、切れ目のない支援を実施してまいりましたが、今後も厳しい状況が続くものと考えております。

そのような中、9月末から10月にかけて開催された「いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会」で

は、本市においてもハンドボールをはじめ、複数の競技を開催することができました。また、11月には蔵の街大通り周辺において、「令和4年とちぎ秋まつり」を盛大に開催し、記念すべき栃木商工会議所の創立130周年をお祝いすることもできました。

こうした催しの開催を通じて、コロナ禍におきましても、賑わい創出に取り組む姿勢を広く示すとともに、市内外からの多くの方々をおもてなしできたことは、栃木商工会議所会員の皆様をはじめとする経済界の皆様並びに地域住民の皆様のご理解とご協力の賜物であり、深く感謝を申し上げます。

本市では現在、総合的かつ計画的な行財政運営を行うため、令和5年度

（2023年）から令和14年度（2032年）の10年間を計画期間とする「（仮称）栃木市第2次総合計画」の策定手続きを進めております。本計画におきまして、人口減少や少子高齢化、脱炭素化やデジタル化の推進など、多様化する地域課題への対応を検討し、目指すべき将来都市像をお示しいたします。この将来像を皆様と共有し、ともに協力し合いながら、その実現に向けて努力してまいりますので、変わらぬご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって、幸多き年となりますようご祈念を申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



卯年議員さんより新年のご挨拶

卯年生まれの議員さんに

新年のご挨拶を寄稿していただきました
(敬称略)



松金化学工業(株)

代表取締役 松本 稔

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、令和五年の卯年の新しい年を健やかに迎えられましたことと、謹んでお慶びを申し上げます。

昨年末は、歴史と伝統のある栃木商工会議所、第三十四期議員に選任を頂きありがたく拝受させて頂きました。

今後とも、皆様のご指導を頂きながら本会発展に努力してまいり所存でございますので、宜しくご指導のほどお願い申し上げます。

さて、気がついてみれば本当年に早いもので、五回目の年男となっております。また弊社も昭和三十八年生まれの六十歳ですので、自分の年齢を考えますと弊社の歴史を感じることに、しきりでございます。私もこの間の

らには、ウィズコロナの視点に立ちニューノーマル企業活動と生活革新実現に向け、舵を切ったわけでございます。今後不退転の決意で克服してまいり所存でございます。

卯年の卯は漢書によると「冒」（ぼう、おおうの意味）で、草木が伸び出て地面を蔽うようになった状態を表しているようでございます。今年卯年にあやかり社会経済環境を見極めながら、焦らず、地道に・真面目に・着実に・確実に・一所懸命にしっかりと、これから成長期待できる草木を幾重にも増やし、怠ることなく、明るく・楽しく・元気に・前向きに活動していきたく思っております。

また、栃木市の活気ある街づくりにも、微力ながら取り組んでまいり所存でございますのでご指導のほどお願い申し上げます。

結びにあたりまして、会員皆様方のますますのご多幸と、ご健勝にてのご活躍をご祈念申し上げます。そして新年のご挨拶とさせていただきます。

どうぞ本年も宜しくお願ひ申し上げます。



館野建設(株) 代表取締役会長 古谷清岳

新年あけましておめで
とうございます。

2023年の新年を迎
え謹んでお慶び申し上げ
ます。

縁があり栃木県民とな
り人生の半分以上が過ぎ
ようとしています。災害

の少ない県と聞き安心し
て居を構ええました。

しかしながら近年の異
常気象による永野川、巴
時代ですが本年が平安な

年に成ることを願いま
す。昨年の4年ぶりの秋
祭りは好天に恵まれ、豪
華絢爛な山車、お囃子に
久しぶりに大勢の人で賑
わい、通りに笑顔があふ
れていました。祭りは人
の心を豊かにします。こ
れからも活気ある街並み
が続く事を期待していま
す。

結びに、会員各社の
益々のご繁栄と皆様のご
健康、世界平和を祈念し
新年の挨拶とさせていただきます。



(株)毛塚紙店 代表取締役 毛塚敏郎

新年あけましておめで
とうございます。会員の
皆様におかれましては、

健やかに新年をお迎えの
こととお慶び申し上げま
す。

昨年は新型コロナが続
く中、ロシアによるウク
ライナ侵攻。アメリカの

金融政策による円安が進
行。
1985年のプラザ合

意前の為替は1ドル約240
円程度。ベルリンの壁崩
壊が1989年、199
1年に建国されたロシア
連邦の行く末はいかに？
子供の頃は100円で少年
ジャンプを買うとお釣り
が貰えました。

世の中は移ろい易く歴
史は繰り返されるもの。
インフレが当たり前の時
代がまた来るのかも知れ

ません。鎌倉殿の13人を
見ていると平も源も北条
も、そしてお金も、全て
は諸行無常で風の前の塵
に等しい存在と感じま
す。はたまた、プーチン
と周はいかに？小生は赤
いチャンチャンコを羽織
る事に喜びを感じたいと
思います。

結びに会員の皆様のご
健康と社業のご発展をご
祈念申し上げ、新年のご
挨拶とさせていただきます。



日立グローバルインフレーションズ(株) 栃木事業所長 山田三紀夫

新年あけましておめで
とうございます。

2023年の新春を迎
え、謹んでお慶び申しあ
げます。会員の皆様には
弊社の事業運営に対しま

して、日頃より一方なら
ぬご支援・ご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍
で急激に落ち込んだ経済
もようやく回復基調に転

じましたが、依然力強さ
を欠き、先行きの見通し
は予断を許さない状況が
続いております。厳しい
事業環境のなかではござ
いですが、感染防止と社
会経済活動をより高い次
元で両立させ、地域経済
の発展と事業運営に引き
続き全力を尽くしてまい
る所存です。

コロナ収束の長期化が



丸三産業(株) 代表取締役社長 中島喜代典

新年あけましておめで
とうございます。

会員の皆様におかれま
しては、健やかに新年を
お迎えのこととお慶び申
し上げます。

昨年を振り返りますと
急激な円安や生活必需品
の値上げ、海外情勢の悪
化などたくさんの変化が
ありました。また、新型
コロナウイルスの感染拡

大からほぼ3年。勤務形
態の多様化など、我々を
取り巻く環境もますます
変化しております。この
変化をいち早く捉え、素
早く適切に対応し、より
良い1年であることを願
います。

今までの数年間から大
きく「飛躍」し、私たち
の生活が大きく「向上」
する年になるよう商工会

予想されますが、現下の
難局を乗り越えた先にあ
る力強い成長を目標に邁
進して参りたいと考えて
おりますので、本年も一
層のご指導・ご鞭撻のほ
どよろしくお願い申し上
げます。

結びに、新しい年が会
員の皆様にとりまして、
輝きと飛躍に満ちた年と
なりますことを心よりお
祈り申し上げます。新
年のご挨拶とさせていただきます。

議所事業につきましても
微力ながら努めて参りま
す。

結びに、会員事業所皆
様のご繁栄とご健康をご
祈念申し上げ、新年のご
挨拶とさせていただきます。



常議員会・臨時議員総会を開催

去る12月9日、市内において、常議員会・臨時議員総会を開催した。

議案審議では、議案第1号 第34期委員会の設置の件と、議案第2号 第34期委員会委員等の委嘱の件の2つの議案が慎重に審議され、原案の通り承認可決した。

第34期委員会正副委員長は次の通り。



臨時議員総会開催風景

総務組織委員会

◎ 渡邊嘉一 ○ 茂木広至 ○ 片柳 均

経営政策委員会

◎ 松本 稔 ○ 平野和正 ○ 猿山 貴

まちづくり委員会

◎ 長澤厚史 ○ 小藤有彦 ○ 柳川延夫

産業振興委員会

◎ 小池雅弘 ○ 松倉敬士 ○ 須田尚男

金融税務委員会

◎ 五十嵐 学 ○ 赤尾憲司 ○ 上野和昭

労務雇用委員会

◎ 小又正和 ○ 古谷清岳 ○ 谷中俊太郎

※委員長は◎、副委員長は○

(敬称略)

3部会合同視察研修会開催

去る12月15日、3部会

(食品・工業・サービス)合同視察研修会を開催し、「中小企業新ものづくり・新サービス展(会場・東京ビックサイト)」を視察した。この展示会は、全国から約550社が出席し、ものづくり補助金を活用し開発した製品・サービス・技術等の販路開拓・技術支援を目的に開催されたもの。中小企業の果敢な挑戦から生み出された最新技術や製品など見学し、自社取り組みでの参考の機会を得た。

その後の「国立競技場スタジアムツアー」では、展望デッキからスタジアムを臨み、トラックやロッカールーム、表彰台などスポーツの聖地を実際に歩き感動を味わった。



スマートストララクションウェビナー開催

去る12月21日、当所に

おいて、建設部会主催による「スマートコンストラクションウェビナー」(Webセミナー)を開催した。

本セミナーは、(株)小松製作所担当者が講師となり、建設現場全体をICT(情報通信技術)でつなぐことで人材不足解消や安全性向上等を実現させるスマートコンストラクションについて理解を深めるもの。

ICT建機等の小松製作所のソリューションサービスが紹介され、参加者は、デジタルトランスフォーメーションが実現した建設業界の姿と、自社への今後の導入について、思いを巡らせるセミナーとなった。



「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2022 ~若手後継者との意見交換会~」を開催

青年経営者会
12月例会

去る12月13日、12月例会「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2022~若手後継者との意見交換会~」を開催した。

本例会は、栃木市主催の「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト2022」に応募したこれから創業する方々と当会メンバーが交流を図り、参加者同士の意見交換を通じて創業に対する認識を深めていただくことを目的に開催し、コンテスト参加者8名、当会メンバー33名が出席した。

例会では、当会拡大委員会の鈴木直弥委員と白井克英委員より、自身が創業した際の経験を踏まえた講話がされるとともに、コンテスト参加者から自己紹介並びにビジネスプランの概要説明がされた。その後、名刺交換並びに情報交換が行われ、コンテスト参加者並びに当会メンバーいずれにも刺激となる内容であった。

当会としては、こうした活動を通して、活力ある事業者を増やし、引き続き、地域社会の活性化に取り組んでいく。



第34期記念講演会 開催のご案内

当所では、第34期に荒金会頭が再任され、2期目を迎えました。洪沢栄一翁の「逆境の時こそ、力を尽くす」という信念に学び、革新に挑戦することの理解を深め、難局を乗り越える力を備えた経営者を目指していただくことを目的に講演会を開催します。

- 1. 日時 3月10日(金) 15時30分
 - 2. 場所 サンプラザ
 - 3. 講師 荒金憲一会頭
 - 4. 対象 会員・創業(予定)者 定員 70名
- 【問い合わせ先】 管理課 Tel 23-3131

記念講演会開催日程変更のお詫び

12月号会議所ニュースにて、開催日を2月10日(金)でご案内いたしました。3月10日(金)に変更となりました。参加予定の皆様には、お詫び申し上げますとともに、ご予定をご変更くださいますよう、お願いいたします。

決算書・確定申告書作成相談会のご案内

当所では、青色申告の個人事業者で、決算書と確定申告書の作成が、ご自身では困難であると思われる方々を対象に、税理士会のご協力のもとに低廉な費用で、その作成を代行する相談会を以下の日程で開催します。

ご希望の方は、事前の予約が必要となりますので、お申し込みください。

■日時

2月16日(木)
9時～12時
13時～16時

■場所

当所会議室

【申込み・問い合わせ先】

中小企業相談所
Tel 23-3131

「儲かる工場」 勉強会開催

去る12月6日、当所において、「儲かる工場」勉強会(主催は(公財)栃木県南地域地場産業振興センター・当所は共催)を開催した。本勉強会は、仕事の基本を徹底し、職場環境の維持・改善を推進し、利益を生み出すべく開催したものである。

講師には、同センターのづくり企業支援登録指導員である中村昌民氏を講師に迎え開催し、5社6名が参加した。具体的には、「新5S」の手段・目的を学ぶとともに、現場での「新5S」の進め方、方策の習得など今後の製造活動に取り入れ活かせる勉強会であった。また、参加者同士の製造現場などの情報交換も行われた。



企業サポート情報

■専門家相談会

◆金融相談会

日時 2月9日(木)
10時～12時
場所 大会議室
相談員 日本政策金融公庫 野支店 国民生活事業

◆経営よろず相談会

日時 2月21日(火)
10時～17時
場所 大会議室
相談員 栃木県よろず支援拠点コーディネーター

◆事業承継相談会

日時 2月28日(火)
10時～15時
場所 大会議室
相談員 栃木県事業承継引継ぎ支援センター

◆経営指導員相談会

※事前予約となります。
◆オンライン相談
日時 9時～17時
相談員 経営指導員
※予約はQRコードからお申し込みします。

【予約・問い合わせ先】
中小企業相談所

Tel 23-3131



http://bit.ly/3gRXpGd

就職情報ポータルサイト

トチオシ! presents

2/24 (金)

Online 就活交流会のご案内

参加企業を募集いたします!

詳しくは、折込チラシをご確認いただき、お申込みは、QRコード「申込フォーム」よりご登録ください。

採用したい方

- ①お申込みフォームから企業登録→事務局よりID発行
- ②企業マイページより情報入力→事務局承認→掲載開始

正社員・派遣社員・契約社員・アルバイト・パート・業務委託OK!

運営：ケーブルテレビ(株) TEL0282-88-5486

共催：栃木市 栃木商工会議所 栃木市商工経済団体連絡協議会

会員事業所のみなさまへ 『うずま共済』 ご加入のおすすめ

『定期保険(団体型)(入院給付金付災害割増特約・がん重点型生活習慣病一時金特約付)』

◆◆◆ 制度の特色 ◆◆◆

- ①業務上・時間外を問わず24時間保障
- ②入院・通院で見舞金支給
- ③結婚・出産・成人で祝い金支給
- ④6大生活習慣病入院一時金
- ⑤がん入院一時金
- ⑥がん先進医療一時金
- ⑦健康増進に役立つ付帯サービス
- ⑧剰余金があれば加入者に配当金も
- ⑨1年更新で医師による診査はなし

ぜひこの機会にご加入をお勧めします。

【問い合わせ先】

管理課業務係
Tel 23-3131

【引受保険会社】

アクサ生命保険(株) 佐野営業所
栃木分室
Tel 23-8934

●ご加入にあたっては、パンフレット・重要事項説明書(契約概要・注意喚起情報)を必ずご覧ください。

今後の制度・補助金情報 ※概要一部抜粋

本制度・補助金は、令和4年度第2次補正予算案の概要となります。準備が整い次第、公募が開始されますのでお待ちください。

資金繰り支援

日本政策金融公庫の制度

低利・無担保融資、資本金劣後ローン、セーフティネット貸付は、令和5年3月末まで実施

借換保証制度の創設

民間ゼロゼロ融資、他の保証付融資の借換需要へ対応するため、100%保証は100%保証で借換えることができる制度を創設

事業再構築補助金

成長枠

市場規模が10%以上拡大する業種・業態への転換を支援

グリーン成長枠エントリークラス

研究開発等の期間を1年に短縮したクラス

産業構造転換枠

市場規模が10%以上縮小する業種・業態からの転換を支援

サプライチェーン強化枠

海外で製造する部品等の国内回帰を進め、国内サプライチェーンの強化及び地域産業の活性化に資する取組を支援

更なる支援措置 成長枠・グリーン成長枠

【規模拡大】

補助事業終了後3〜5年で中小・中堅企業等から中堅・大企業等へと規模拡大する事業者の上限上乘せ

【賃上げ】

①継続的な賃金引上げ及び従業員増加に取り組み事業者の補助上限上乘せ
②補助事業期間内に賃上げ要件を達成した場合、補助率を引き上げ

小規模事業者持続化補助金

インボイス特例

免税事業者からインボイス発行事業に転換する事業者を対象に、全ての枠で補助上限を上乘せ

ものづくり補助金

グリーン枠

温室効果ガス排出削減の取組に応じて補助上限を3段階に設定し拡充

グローバル市場開拓枠

海外事業の拡大等を目的とした設備投資等を支援
海外市場開拓類型では、ブランディング等に係る経費も支援

更なる支援措置 賃上げ上乘せ

事業終了後3〜5年で大幅な賃上げに取り組み事業者に対し、各枠の補助上限を上乘せ

IT導入補助金

通常枠A類型

補助下限額を引き下げ、クラウド利用料の対象期間を延長

デジタル化基盤導入類型

安価なITツール導入を支援するため、補助下限額を撤廃

事業承継・引継ぎ補助金

経営革新事業

一定の賃上げをする事業者の補助上限を引き上げ

注意

○令和4年度第2次補正予算のより詳しい内容は中小企業庁のHPをご確認下さい。
○本制度・補助金は、令和4年12月時点の内容となっており、変更される可能性がありますので、ご了承ください。

主な週末のイベント情報

2月25日(土)	蔵なび雛まつりコンサート
2月26日(日)	おひな様アカデミー
3月4日(土)	流し雛
	十三参り
3月5日(日)	あそ雛マルシェ

来たけく見たけく食ったけく
第16回あそ雛まつり
期間…2月24日(金)
〜3月5日(日)
今年で16回目を迎える栃木の雛まつりは、雛人形の展示と併せ、各種体験型イベントが、企画されており、遊べる雛まつりとして開催いたします。
※新型コロナウイルス感染症の状況により、イベントの中止・変更を行う場合がございます。
【問い合わせ先】
栃木市商店会連合会事務局
Tel 23-3131



令和5年10月から
消費税インボイス制度
が始まります。

消費税
インボイス
制度

登録を予定されている事業者の方へ 登録申請はお早めに!

※制度開始時にインボイス発行事業者となるためには、原則として、令和5年3月31日までに登録申請を行う必要があります。



登録申請手続は、

かんたん・便利♪ **e-Tax** をご利用
ください!!

- ✓ [e-Taxソフト(WEB版)]、をご利用いただくと、質問に回答していくことで申請が可能です。
- ✓ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知の受領が可能です。
- ✓ 個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。
※e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

説明会を開催中

税務署での説明会やオンラインでの説明会をご案内しております。

説明会ページへ▶



制度について詳しくお知りになりたい方は、
国税庁ホームページ(<https://www.nta.go.jp>)の
「インボイス制度特設サイト」をご覧ください。

特設サイトへ▶



特設サイトでは

- ① 制度の解説動画
- ② AIを活用したチャットボット
- ③ 軽減・インボイスコールセンター などをご案内しております

～栃木税務署からのお知らせ～

所得税・個人消費税・贈与税の確定申告会場を次のとおり開設いたします。

○期間、申告会場及び対象の方

期間	申告会場	対象の方
2月15日以前	栃木税務署庁舎 (栃木市河合町1番29号)	還付申告の方(注)
2月16日 ～3月15日	栃木商工会議所大ホール (栃木市片柳町2丁目1番46号)	全ての方

(注) 贈与税については、2月1日(水)以降、申告相談を受け付けています。
(ただし、土、日および祝日を除きます。)

○時間 相談受付：午前8時30分から午後4時まで(相談開始：午前9時から)

**確定申告会場の入場には、当日配付又は国税庁LINE公式アカウントから事前に
取得した入場整理券が必要です。**

※スマホをお持ちの方は、確定申告会場において、基本的にスマホを利用して申告書を作成していただきます。

※確定申告会場に来場される際は、マスクを着用していただき、少人数でお越しください。

※入場の際に検温を実施しています。咳、発熱等の症状のある方は入場をお断りさせていただきます。

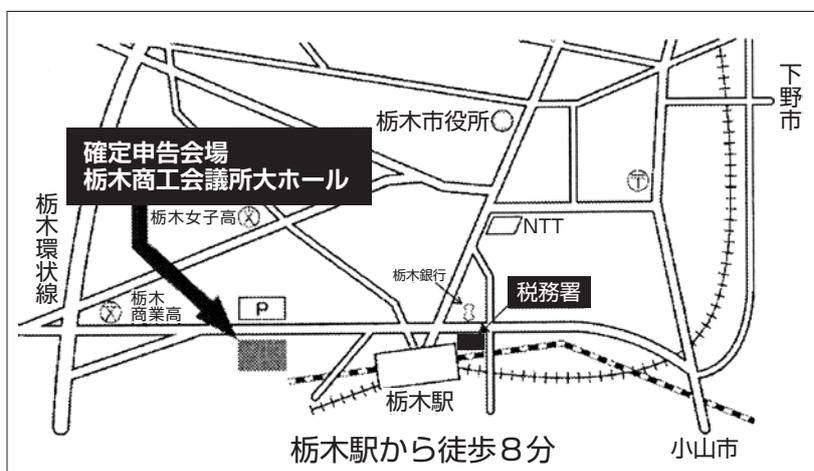
※午後4時前であっても、相談受付を終了する場合があります。

※2月16日から3月15日は、栃木税務署庁舎では申告相談を行っていません。

※確定申告会場では現金納付の窓口業務は行っていません。

※確定申告会場の駐車場は混雑します。車での来場はなるべくご遠慮ください。

※栃木商工会議所への直接のお問合せはご遠慮ください。



国税庁LINE
公式アカウント

【問い合わせ先】 栃木税務署 TEL 0282-22-0885 (自動音声案内)

青年経営者会NEWS

る・じょーむ

Le Jeune homme

NO.371 令和5年1月10日発行 ●編集/青年経営者会



新年のごあいさつ

栃木商工会議所
青年経営者会

会長 松本 篤哉

新年明けましておめでとうございます。謹んで新年のお慶びを申し上げます。

平素は栃木商工会議所青年経営者会の諸活動に対し、格別のご高配、ご厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、ウィズ・コロナのもと、国では、需要回復や消費喚起に向けた施策に舵を切り、国内外の人の往来の再開やイベントの復活など、日常生活の回復が進められておりました。

一方、ウクライナ情勢に端を発した資源価格や食糧価格の高騰に加え、政策金利による円安基調が継続されるなど、中小・小規模事業者にとりまして、まだまだ不透明かつ厳しい経営環境に置かれております。

こうした変化が激しく、未だ終焉の見えない状況であっても、地域経済の中心を担っていく青年経済人として、様々な視点で日々学び、日々実践することで一步一步前に進んでいきたいと思っております。

我々YEG活動に目を向ければ、本年度は「活・生・支・幸(かっせいしこう)～人は、誰もが支えられ、活かされている。他者を活かし、支えられることを、何よりも幸せなこととして生きる～」をスローガンに掲げ、一人一人が支え合い、一致団結して活動してまいりました。特に、昨年10月には当会が主管となり開催した「日本商工会議所青年部 第42回 関東ブロック大会 蔵の街とちぎ大会」は、コロナ禍という難しい状況の中、当会メンバーはもとより栃木県内9単会のメンバーが一致団結し、関東ブロック内87単会をもてなし、併せて栃木県の魅力を発信することができました。これも偏に皆さまのお力添えあってこそ成し得ることができたものと考えております。また、こうした活動が、メンバー一人一人を繋ぎ、より広く、より強固な絆の構築に寄与し、各会の活動や自社の事業活動に活かせるレガシーとなることでしょう。引き続き、このような活動や例会を通して、自社の事業に役立て、経営者自身の資質向上を今後とも積極的に進めていき、会員企業の事業発展を目指していく所存です。

結びに、本年も当会の活動に深いご理解とご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、皆様の企業がますます発展されますよう心より御祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

女性経営者会NEWS



新年のごあいさつ

栃木商工会議所
女性経営者会

会長 堀 恵子

新年あけましておめでとうございます。

令和5年の新春を迎えましたこと謹んでお慶び申し上げます。

平素は栃木商工会議所女性経営者会の活動に対し、ひとかたならぬご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の長引く影響が続き、それに加えロシアによるウクライナ侵攻、円安や物価高と経営を取り巻く環境は依然として厳しい状況が続いております。

そのような中、当会の活動におきましては、感染症対策を十分に行い、徐々に活動の範囲を広げてまいりました。

まず、8月の鎮魂線香花火・世界平和祈願灯ろう流しイベントや、11月の令和4年とちぎ秋まつりにおきましては来場者の方々へおもてなしを行い、栃木市の魅力アップのために活動をしました。久しぶりの市内イベントへの参加

を通じ、訪れた方々との触れ合いを通してたくさんの生の声を伺うことができました。また、10月には全商女性連福島全国大会に出席しました。全国大会がリアル参加を含めた形で開催されるのは3年ぶりとなり、当会にとっては初めての現地参加であったため、各地女性会との交流により大変刺激を受けました。また震災から11年経過した福島県での開催は、今なお復興に尽力されている地元の方々の姿を間近に感じることができ、大変意義があるものでした。さらに、県内女性会との交流の場にも積極的に参加し、さらに結束を固めることもできました。

当会は本年8月に創立5周年を迎えます。この5年間を振り返りますと大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症の蔓延等により活動が制限されることも多々ありましたが、これからはウィズコロナの新時代に向け、今一度基本方針に立ち返り、荒金会頭新体制をお支えしながら地域活性並びに社会貢献のため活動してまいりますので、皆様のより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご繁栄とご多幸をお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。